

設置から10年を目安に交換しましょう！

住宅用火災警報器の耐用年数は、約10年とされています。

定期的な点検で作動確認を実施していても、**電子部品の劣化や電池切れ**などにより火災を感知しなくなるおそれがありますので、**設置から10年を目安に本体を交換**しましょう。

付加機能つき住宅用火災警報器でより安心！

詳しくは裏面をご覧ください。

交換時の
ポイント

設置から10年の交換目安を把握できるように、設置する時には「設置年月」を油性ペンで記入しましょう！



設置年月が分からない時は、内部に記載されている製造年月からおおよその設置時期を推測しましょう。



「お手入れ」しましょう！

住宅用火災警報器は、火災の煙の流入による光の反射(煙式)や火災の熱による温度変化(熱式)によって、火災を感知します。

住宅用火災警報器がホコリなどで汚れている場合、火災を感知しにくくなります。汚れは定期的に乾いた布で拭き取りましょう。

汚れがひどい場合は、家庭用中性洗剤を溶かした水に布を浸し、十分に絞ってから拭き取りましょう。



ほこりの溜まった住宅用火災警報器

適正に設置しましょう！

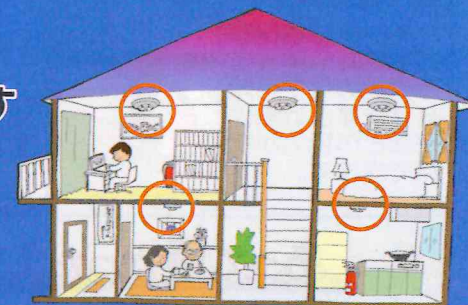
住宅用火災警報器は火災予防条例により、居間やリビング、子ども部屋、寝室など**全ての居室と階段、台所の天井又は壁への設置が義務**付けられています。

※ 共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている建物は住宅用火災警報器の設置義務はありません。

煙や熱を感知すると
火災を知らせる警報音が流れます



火事です火事です
ピーピー



定期的(半年に1回以上)に点検しましょう！

住宅用火災警報器は、簡単に**作動確認**することができます。正常に作動する場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。

点検方法はこちら



ボタンを
押す

又は



ひもを
引く

※一般的に点検の際の音声等は自動で停止します。

